

科目名		労働衛生工学実習	
科目責任者		東 秀 憲 (労働衛生工学 教授)	
開講時期:	2～4年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 90 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>環境中の有害物質について気中濃度を測定して、環境を評価することができる。また実験動物を用いた吸入曝露試験および化学物質の臓器内の残留量の測定法を学習し、生体影響の強弱を評価することができる。環境評価に基づいたリスク低減対策を提案することができる。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 化学物質の濃度測定のリデザインサンプリングについて統計的な理解をする。 2) 粒子状物質の粒度分布について実習する。 3) 粒子状物質の測定法について実習する。 4) ガス状物質の簡易測定法について実習する。 5) 化学物質の実験動物を用いた吸入曝露試験法を実習する。 6) 化学物質の実験動物の体内残留量の分析方法を実習する。 7) 局所排気装置の使用法について実習し、構造の理論的な理解をする。 8) ろ過式呼吸用保護具の構造を理解する。 9) ろ過式呼吸用保護具の取り扱い方法を実習する。 			
● 評価方法	検討会での討論20%・発表40%・レポート40%等で総合評価する。		
● 参考文献	実習の中で必要に応じ紹介する。		